

大府コミュニティ推進協議会

創立20周年記念式典開催

記念式典・講



去る十一月十六日、大府コミュニティ二十周年式典が市役所多目的ホールで盛大にとりおこなわれました。まず、オープニングを飾ったのが、大府中学校吹奏楽部三年生の皆さん。日頃の練習の成果を発揮し、若さあふれる演奏を地域の皆さんに披露しました。

続いて、大府コミュニティで十年以上活動が続けてこられた二十八名の皆さんに功労者感謝状が授与されました。

最後に、大府高校出身の元読売巨人軍槇原寛己氏の『わが野球人生をふりかえって』と題した講演が行われました。



記念講演『わが野球人生をふりかえって』講師 槇原寛己氏

あのような大投手でありながら、中学時代は「野球で食べていけるとは思っていなかった」とかで、将来の就職の為に、県立高校への進学を決められたそうです。そこで出会った馬場監督は、同じ歳でありながら、おおらかにミットをかまえ、根気強く待ち続けて自分を導いてくれた人、このことでおふたりの強い絆を感じました。

数々の輝かしい実績や記録を残してきた野球人生をふりかえり、大切なのは、「最後まであきらめないこと」「黙々と努力すること」「長く続けること」だとの言葉にずっしりと実感がこもっていました。又、子供たちが大好きな野球をやることによって、一生の宝となる体作りができ、社会生活に必要な人間関係を学ぶことができ、さらに、非行に走ることなく親への感謝の心が育つというすばらしさを強調してみえました。最後に「微力ながら野球界の底辺拡大の為に仕事をすることです。いろいろな方たちに恩返しできたと思っています。」と結ばれました。

大府コミュニティ
ふれあい

編集発行

大府コミュニティ
推進協議会
調査広報部会
事務局

大府公民館
TEL48-1007

助けあう

家庭と地域を

創造しよう

最近、スポーツ番組はもとよりバラエティにも出演し、大活躍の槇原さん。思い出深い大府での講演ならではのことで、ホール最後列でみまめる馬場大府高校野球部監督への呼びかけや、ユーモアたっぷりの「ここだけの秘密の話」をまじえながら約一時間の楽しいお話を聞かせてくださいました。

第22回 大府公民館芸能祭



大府保育園の子どもたちです！

第22回 大府公民館芸能祭



“ヨガ”には会場の皆さんも参加！
身体も心も リラックス！

第22回 大府公民館芸能祭



第22回 大府公民館芸能祭



桃山保育園の子どもたちです！



前日の準備もバッチリ！

日頃大府公民館を利用して学習・練習をしている団体の活動成果発表の場として芸能祭を開催しています。

また、地域のみなさんに開かれた公民館として楽しんでいただき、“ふれあい”を高める場ともなっています。

今年度は大府コミュニティ推進協議会の20周年記念ということもあり、市役所多目的ホールに会場を変更して行われ、より多くの地域のみなさんの参加をえることができました。



2月22日
開催

大府コミュニティ推進協議会
20周年記念事業



交通安全啓発の午後

2月14日 開催

交通防犯部会



ロボットに嫌われたらどうする？



ルミナス大府の慰問

1月14日 実施

文化福祉部会



あの人この人

こんなに近くて
こんなに素敵な高校生たち

愛知県立桃陵高等学校

— 中央町五 —

今回は、大府市役所隣の愛知県立桃陵高等学校を紹介します。昭和四十年大府高等学校衛生看護科として開設され、昭和四十三年現在の桃陵高等学校となりました。平成十二年生活福祉科が新設され、平成十四年には衛生看護科が「五年一貫教育」となり、看護師資格を得るための制度の中では最短コースの学校となりました。以前は一

学年四クラス百六十名でしたが平成十四年からは生活福祉科、衛生看護科一クラスずつで八十名になったそうです。桃陵高等学校は最初から男女共学であった事を皆さんはご存じでしたか。それにもかかわらず男子生徒が入学し始めたのは七年前からだそうで、中学生の時に「看護師になろう」と決める事の難しさを改めて感じました。生活福祉科の開設に

より、この科では福祉や介護だけでなく、保育・デザイン・生活に関する知識・技術を習得できるようにになりました。そのためにいろいろな職種を幅広く選択でき



るようになったので、今後は男子生徒も増えていくのではないかと思います。

今回、生活福祉科三年生の森山さんと種島さん、衛生看護科二年生の



日比野さんと井原さんそれぞれの科の先生方から色々なお話を伺うことができました。どちらの科も二年生、三年生には実習が行われます。一番大変だった事を伺ってみました。生活福祉科のお二人は老人ホームなどでの実習で、おとしよりのコミュニケーションのとり方がわからず大変苦労されたそうです。でも、最後の日には「ありがとう。」と言ってももらえて嬉しかったと笑顔で話してくださいました。衛生看護科のお二人は二年生で、初めての実習であった事もあり「何も出来なくて申し訳なかったです。」と話してくださいました。涙が……。皆さん中学生の時から目的をもってこの学校に入ってきているので、まだ十代でありながらしっかりとした気持ちで本当に一生懸命がんばっています。このような若

者が、近い将来看護師、介護師として立派に活躍してくれると思うと心強く感じました。

また、今年度は新しい試みとして近くの大府小学校との交流が行われ、五年生が桃陵高等学校の桃華祭に招待されました。衛生看護科の生徒さんからは、手洗い、うがいの仕方やバンソウコウのはり方の指導を受け、帰りには生活福祉科の生徒さんから手作りのクッキーを頂きました。時間もなくて「もっと見たい」と言う声がたくさん出たほどです。通学途中で見かけるお兄さん、お姉さんを少し身近に感じられたようでした。一方、桃陵高等学校の生徒さんが、大府小学校で「出前授業」を開き四年生、三年生の子どもたちとゲームを楽しみました。予想以上の小学生パワーに圧倒されっぱなしだったとのことです。

これを機に桃陵高等学校は、もっと地域の方とのふれあいを大切にしていきたいそうです。地域の行事の時にもしかすると桃陵高等学校の生徒さんにあえるかもしれません。その時は是非こえをかけてみて下さい。

きっと
すてきな
笑顔が
かえって
くること
を
思います。
— Y・T —



あとかす、



三月二十三日に「桜ちらほら開花宣言」が発表されたにもかかわらず、そのあと又春休みらしくない寒い日が続いてきたり……。そんな中、「桜咲く」という結果が出て、新生活スタートの準備を始めた皆さんも多いことでしょう。

『13歳のハローワーク』という立派な本がベストセラーになっている昨今、真剣に未来をみつめる若者たちがふえることは世の中を明るくしてくれます。「自分の好きなことを仕事にする」ために「働くこと」について考え、歩き始めた若者たちを地域の皆さんも暖かいまなざしで応援しましょう。

平成16年度

大府コミュニティ
総会開催

●とき

4月18日(日) 午後7時半より

●ところ

大府公民館大会議室